

全国大学音楽教育学会第 39 回全国大会〈福岡大会〉 第二次案内(最終) 2024 年 7/3

標記の件につきまして、下記のとおりご案内申し上げます。多数の皆様のご参加をお待ち申し上げております。

1. 大会テーマ 音楽でつつむ、つなぐ、つむぐ —子どもの感性を育むために—

2. 期 日 2024 年 8 月 22 日 (木) ~ 8 月 24 日 (土)

3. 会 場 西南学院大学 福岡県福岡市早良区西新 6 丁目 2-92

*キャンパス内は、自家用車の駐車ができません。必ず公共交通機関をご利用ください。

*福岡空港・JR 博多駅からは福岡市営地下鉄に乗車、西新 (にしじん) で下車。徒歩 5 分

*福岡市営地下鉄「西新駅」から西南学院へ行くには、1 番出口が便利です。

*校門から各会場へは、案内板に沿ってお進みください。

4. 日 程 8 月 22 日 (木)

常任理事会	13:00~14:00	1号館7階	711教室
理事会	14:00~16:30	1号館7階	710教室
受付	16:00~17:00	チャペル	
研究演奏発表	17:00~20:00	チャペル	※1
理事情報交換会	20:20~22:00		

8 月 23 日 (金)

受付	9:15~9:45	チャペル	
開会式	9:45~10:00	チャペル	
基調講演	10:00~11:45	チャペル	※2

「Musicking (音楽すること) と教育」

講演者：齋藤考由 氏 (精神科医師・日本臨床音楽療法学会理事長)

事務連絡	11:45~11:50		
総会	11:50~12:20		
昼食	12:20~13:30	1号館3階	弁当配布会場
研究口頭発表	13:30~16:30	1号館3階	※3
情報交換会	18:00~20:00	ホテル マリノアリゾート福岡	(貸切バス利用)

8 月 24 日 (土)

受付	9:30~10:00	西南学院百年館 (松緑館)	
ワークショップ	10:00~11:30	西南学院百年館 (松緑館)	※4

「対」としての私、「類」としての私

講師：講演者：齋藤考由氏 (精神科医師・日本臨床音楽療法学会理事長)

※パンツ等、動きやすい服装でご参加ください。

閉会式	11:45~12:00		
-----	-------------	--	--

5. 主 催 全国大学音楽教育学会

6. 主 管 全国大学音楽教育学会九州地区学会

7. 参加申し込み方法

参加申込は、下記URLまたはQRコードより、必要事項を記入の上、送信してください。
入力時に確認した合計金額を下記口座にお振込みいただいた時点で、受付完了となります。

<https://forms.gle/tL8dDpnCcTsJDAhG8>



8. 参加費用

会員：7,000円（申込締切7月31日）

一般：研究演奏、基調講演、ワークショップへの参加は、各1,000円

学生：1日500円

情報交換会参加費：8,000円

昼食弁当：1,000円（税込み。お茶はつきません）※23日のみ

※8/23（金）は、会場校の学生食堂及び売店は営業中ですが、夏休み期間中のため、メニューを限定していたり、運動部の学生が長蛇の列を作っていたりする場合がございます。また、大学近くにコンビニもございますが、出来るだけお弁当をご注文頂きますようお願い致します。

振込先

福岡銀行 飯塚支店 店番：551 普通 口座番号：3245662

名義：全国大学音楽教育学会九州地区学会

※振込みの際には、氏名、所属先の順に入力してください。（所属先を先に入力すると、振り込まれた方の氏名が読み取れない場合がございます。ご注意ください。）

9. お問い合わせ先・大会事務局 平松愛子 E-mail a-hiramatsu@seinan-gu.ac.jp

※1 研究演奏発表プログラム

1. アンサンブル ソプラノ **松田扶美子** (有明教育芸術短期大学) (関東地区)
ピアノ **林麻由美** (東京福祉大学短期大学部) (関東地区)
ヴァイオリン **樋口菜穂美** (武蔵野音楽大学附属音楽教室) (非会員)
曲目: 主われを愛す (アンナ・B・ウォーナー作詞 ウィリアム・ブラッドベリー作曲)
主の祈り (A・H・マロツテ作曲)
Pie Jesu (アンドリュウ・ロイドウェッバー作曲)
天使の糧 (セザール・フランク作曲)
2. ピアノ連弾 Primo **川畑尚子** (大阪キリスト教短期大学) (関西地区)
Second **山内信子** (関西学院短期大学) (関西地区)
曲目: 狂詩曲〈スペイン〉 (A.E.シャブリエ作曲 A.メサジェ編曲)
3. ピアノ独奏 **伊藤桂子** (札幌国際大学短期大学部) (北海道地区)
曲目: ≪子供の情景 Op.15≫より「第7曲 トロイメライ」 (R.Schumann 作曲)
≪ピアノソナタ第2番 Op.22≫より「第4楽章」 (R.Schumann 作曲)
4. ピアノ独奏 **平松愛子** (西南学院大学) (九州地区)
曲目: 『鏡』より第2曲〈悲しい鳥〉 (モーリス・ラヴェル作曲)
5. ピアノ独奏 **原久美子** (東京福祉大学短期大学部) (関東地区)
曲目: ヴァルス=カプリス 第2番 作品38 変ニ長調 (ガブリエル・フォーレ作曲)
6. 作品発表 (歌曲) ソプラノ独唱 **篠原美幸** (大阪教育大学) (関西地区)
ピアノ **金井秋彦** (大阪信愛学院大学) (関西地区)
曲目: 「紅葉に寄せて」 (詩: 高橋 暁子・曲: 金井 秋彦)
「蟬」 (詩: 池田 もと子・曲: 金井 秋彦)
7. バリトン独唱 **原尚志** (福岡教育大学) (非会員)
ピアノ **赤塚太郎** (昭和女子大学) (関東地区)
曲目: 〈憩いなき愛 Rastlose Liebe〉 Op. 5, 1 (D 138) (J. W. v. ゲーテ作詩、F. シューベルト作曲)
〈憩いなき愛 Rastlose Liebe〉 (初稿) (J. W. v. ゲーテ作詩、J. F. ライヒャルト作曲)
〈憩いなき愛 Rastlose Liebe〉 (第二稿) (J. W. v. ゲーテ作詩、J. F. ライヒャルト作曲)
〈憩いなき愛 Rastlose Liebe〉 Z 124 / IV, 1 (J. W. v. ゲーテ作詩、C. F. ツェルター作曲)
8. ピアノ独奏 **鹿戸一範** (秋草学園短期大学) (関東地区)
曲目: 練習曲集 作品10 第3番 ホ長調 (ショパン作曲)
練習曲集 作品10 第12番 ハ短調 (ショパン作曲)
9. ピアノ独奏 **永井正幸** (大阪青山大学) (関西地区)
曲目: ギャロップと8つのエコセーズ D.735 (F. シューベルト作曲)
10. アンサンブル ソプラノ **松田扶美子** (有明教育芸術短期大学) (関東地区)
ピアノ **林麻由美** (東京福祉大学短期大学部) (関東地区)
ヴァイオリン **樋口菜穂美** (武蔵野音楽大学附属音楽教室) (非会員)
曲目: 「ラヴェンダーの花咲く庭で」 (ナイジェル・ヘス作曲)
オペラ『ファウスト』より「宝石の歌」 (シャルル=フランソワ・グノー作曲)

11. バリトン独唱 **三沢大樹** (東海大学) (関東地区)
ピアノ **新海節** (安田女子短期大学) (中・四国地区)
曲目: 電話 (薩摩 忠・湯山 昭)
シマフクロウのユーカラ (北川 典子・山本 学)
12. ピアノ連弾 Primo **大津山優** (個人会員) (九州地区)
Second **大津山姿子** (熊本学園大学) (九州地区)
曲目: 子供の情景より (R.シューマン作曲)
第1曲「見知らぬ国から」
第2曲「珍しいお話し」
第3曲「鬼ごっこ」
第5曲「幸せいっぱい」
第6曲「重大なでき事」
第7曲「トロイメライ (夢)」
第8曲「炉ばたにて」
13. ピアノ独奏 **田中慈子** (京都光華女子大学) (関西地区)
曲目: 幻想曲 ニ短調 K.397 (モーツァルト作曲)
14. ピアノ独奏 **中島龍一** (日本体育大学) (関東地区)
曲目: ①さんぼ (中川李枝子・久石譲・中島龍一) ~ ②さくらさくら (日本古謡・中島龍一) ~
③うみ (林柳波・井上武士・中島龍一) ~ ④まっかな秋 (薩摩忠・小林秀雄・中島龍一) ~
⑤雪 (文部省唱歌・中島龍一) ~ ⑥たき火 (巽聖歌・渡辺茂・中島龍一)
15. ソプラノ独唱 **桐山由香** (大阪青山大学) (関西地区)
ピアノ **山岸多恵** (平安女学院大学) (関西地区)
曲目: 《ふるふるさくら - 京都 -》 (瑞木よう作詞・山岸徹作曲)
16. バリトン独唱 **佐藤慶治** (鹿児島国際大学) (九州地区)
ピアノ **平松愛子** (西南学院大学) (九州地区)
曲目: 木菟 (三好達治作詞・中田喜直作曲)
ちいさい秋みつけた (サトウハチロー作詞・中田喜直作曲)
17. ピアノ独奏 **岡田泰子** (中部学院大学短期大学部) (中部地区)
曲目: 舟歌 作品 60 (ショパン作曲)
18. ピアノ独奏 **若原真由子** (帝京短期大学) (関東地区)
曲目: 3つのピアノ小品 1. ブルレスカ 3. トッカータ (スラヴィツキー作曲)
19. ピアノ独奏 **木村貴紀** (北海道教育大学旭川校) (北海道地区)
曲目: 「鏡」より IV. 道化師の朝の歌 (ラヴェル作曲)

※2 基調講演

講師 齋藤考由（さいとう としゆき）氏 プロフィール

精神科医師、麻酔科標榜医、日本芸術療法学会認定芸術療法士

福岡県久留米市出身。昭和55年、精神科での音楽療法を開始。九州大学医学部卒業後麻酔科を経て、九州大学医学部神経精神医学教室外来医長。平成8年から9年にかけてハイデルベルク大学医学部精神科に留学し、音楽療法の研究を行なった。

平成9年 全日本音楽療法連盟 認定音楽療法士

平成15年9月～ 社会福祉法人ひびきの杜 理事長

平成28年4月～ 医療法人社団 五雲堂 齋藤醫院 精神科

専攻：精神病理学 音楽療法

論文：音声精神療法(ヴォーカル・サイコセラピー)の視点から見た音楽療法と言葉(2016, 日本芸術療法学会誌 Vol.47 No.1)

音楽療法の今日的課題 (2018, 日本芸術療法学会誌 Vol.49 No.1) ほか

訳書：音楽療法事典 (1999, 人間と歴史社, 共訳)

著書：ケースに学ぶ音楽療法II (2017, 岩崎学術出版社, 共著)

役職：日本芸術療法学会常務理事、日本臨床音楽療法学会理事長

要旨

みなさんご存知のとおり、音(sound)とは、聴覚で捉えられた振動・波(acoustic wave)です。世界は波・響きに満ちています。私たちのからだもさまざま水準の振動を生み出しています。素粒子物理学的な視点からは、私たち自身が響きで成り立っているとも言えます。その一部を人間が意図的に構成し、聞き取られるようになったのが、いわゆる「音楽」なのでしょう。私たちの多くは、文部(科学)省の指導要領に基づき幼少期から西洋音楽を「音楽」として学んできました。そして大人になってからも多くの場合は、あまり疑いもせずにそれを前提として「音楽」を語っているのではないのでしょうか。一方、J. Blacking は人間の音楽性という書物の冒頭で、「音楽」を「人間により組織づけられた音響 Humanly Organized sound」と定義づけています。また C. Small の提唱した「音楽すること Musicking」という考えには、楽曲を演奏したり、鑑賞したりすることに限らず、演奏会でチケットのもぎりをしたり、演奏後の撤収作業や掃除をしたりすることもそれに含まれています。また、イギリスの小児科医で精神分析家の D.W. ウィニコットは、患者(児)が遊べるようにすることが我々(治療者)の仕事であると述べました。今回、子どもたちに音楽を教育することになる学生さんたちの指導にあたっていらっしゃる本学会の会員のみなさまにお話しするにあたり、一度、上に述べたような視点の整理をして、明治以来の本邦の音楽教育の「枠組み」とらわれずに、「音楽すること」を考え、それを踏まえてこれからの「音楽教育」がどのようにあるのが望ましいかという視点から、私の日常の精神科臨床を踏まえた上でお話しができるの良いのではないかと考えています。近年、大学での講義では、次学期の講義内容を記した「シラバス」をあらかじめ用意するようになっていますが、予定された通りのことを正確に伝達することが目的でしたら、「知識の量」が増えるだけのことで、そこには自分が変わるという意味での「分かる」体験としての学びはないようにも思われます。当日は、おおよそ上に記したような内容をふまえてお話しするつもりではおりますが、お集まりいただいた方々の「反応」によっては、その中身が大きく変わってしまうことになるかもしれません。私の日常臨床では、目の前の対象者に依ってこちらのあり方も変化しながら対応していく「ライブ」を基本としますので、ご容赦いただきたくあらかじめご了承くださいと存じます。

※3 研究口頭発表プログラム

	氏名	題 目	地区
1号館 302教室	金子珠世	保育内容「表現」におけるサウンド・エデュケーションの実践と教育方法の検討	九州
	竹下可奈子	音楽表現に対する動機づけの変容と実習へのつながり	中・四国
	水谷いつみ	小学校1・2年生の音楽家授業における搜索活動に関しての一考察 —イギリスと日本の教科書の比較を通して—	九州
	室町さやか	音楽教育を取り巻く今日的課題と教員養成において音楽を学ぶ意義の研究	関東
	長島 礼	小学校音楽科における読譜力の育成に関する研究 —教師の指導力という観点から—	関西
1号館 308室	津田奈保子 橋本弘美	保育者の対話的・協働的研修から音楽活動の生活化を志して —音楽会に向けて3歳児による「ゆげのあさ」の歌唱活動を例として—	関西
	小池美知子	音楽活動に対する保育者の意識と実際の活動の関連 —保育者のアンケート調査を通して—	中・四国
	佐野仁美 岡林典子 坂井康子	リズム創作につながる幼児の表現遊び —協同性の育ちに着目して—	関西
	本野洋子 中村 裕	子どものリズム遊び表現活動からの発達の効果について —竹踊りの活動を通して—	関東
	岡村 弘 本野洋子	わらべうたの大阪における標準語化	関東
1号館 309教室	杉原由利子	保育者養成校におけるピアノ初学者に対する授業実践の提案 ～『にじ』の弾き歌い～コダーイコンセプトの手順を軸に～	関東
	中村ますみ	ピアノ未経験者の指導に効果的な教材の在り方 ～演奏に必要な要素の分析を通して～	九州
	岡田暁子 麓 洋介	即興的な音楽表現活動における音楽的变化について —劇的要素によって促される奏者間の関係性に着目して—	中部
	長谷川恭子	わらべうたによる乳児と保護者のコミュニケーションの効果と課題 —ベビーマッサージとわらべうたのワークショップを通して—	関東

※発表時間等の詳細につきましては、後日、発表者の方にご連絡いたします。

※4 ワークショップ

講師 齋藤考由（さいとう としゆき）氏

概要

私たちの多くは幼少期から西洋音楽をもって「音楽」と教えられ、あまり疑いもせずにそのようなものとして受け入れてきました。このワークショップでは、その枠組みを一度とっばらった次元に立ち返って、自分の「からだ」から生み出される原初的な「音」の世界を体験してみたいと思います。

「個」の中で生まれる音への気づくことから、「対（つい）」をなす他者との間の「共鳴」や「不協和」をへて、「類（るい）」として生きるわれわれの「間（あいだ）」に生まれるハーモニー時空の体験へとワークを進められれば幸いです。

キーワードとしては、息、呼吸、鼓動、蠕動、声、倍音、メディテーションなどを挙げる事ができます。